

工事説明書

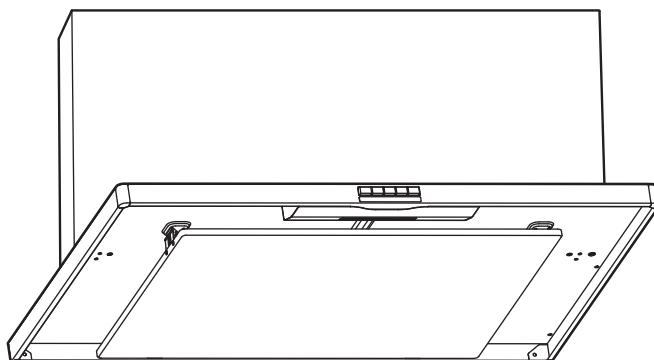
スマートスクエアフード

品番

FY-6HZC4

FY-7HZC4

FY-9HZC4



工事説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。特に「安全上のご注意」(2ページ)は、施工前に必ずお読みください。

- ・工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。
また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

取扱説明書は必ずお客様にお渡しください。

もくじ

安全上のご注意	2
設置上のご留意	3
各部の名前	4
外形寸法図・結線図	5
付属品・別売品	6
取り付け前に	7～8
施工方法	9～裏表紙
仕様	裏表紙

安全上のご注意 (必ずお守りください)

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



警告



分解禁止

仕様変更・改造は絶対にしない
火災・感電・けがの原因となります。



禁止

指定穴以外へねじを固定しない
内部の配線を傷つけ、感電するおそれがあります。

指定以外のねじを使用しない
内部の配線を傷つけ、感電するおそれがあります。

電源コード、電源プラグを破損するようなことはしない
(傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、引っ張ったりしない)
傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。



アース線接続

D種接地工事をおこなう
故障や漏電のときに感電するおそれがあります。



排気工事をおこなう場合、建築基準法
(同施行令) および消防法などの関連
法規に従って、施工する
火災など重大な事故の原因となります。

交流100ボルトで使用する
火災・感電の原因となります。



レンジフード本体と排気ダクトは、可燃物との間を10 cm以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆う
火災などの原因となります。
詳しくは所轄の消防署(庁)に問い合わせてください。

メタルラス、ワイヤラス、または金属板張りの木造建築物に金属製排気ダクトを貫通する場合、メタルラス、ワイヤラス、金属板と接触しないように取り付ける
漏電した場合、火災の原因となります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む
差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
●傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

電源コードはアダプター、排気ダクトと離して固定する

火災など重大な事故の原因となります。詳しくは所轄の消防署(庁)に問い合わせてください。

給気電動シャッター連動用コード、電動シャッター連動用コードはアダプター、排気ダクトと離して固定する
火災など重大な事故の原因となります。詳しくは所轄の消防署(庁)に問い合わせてください。



注意



本体は、十分強度のあるところに水平にしっかり取り付け、強度不足の場合には補強する
落下により、けがをするおそれがあります。

取り付け工事の際は、厚手の手袋を使用する
板金部品などの切り口や本体の突起、角などでけがをすることがあります。

取り付け金具やねじは付属のものを使用する
落下により、けがをするおそれがあります。



配線工事は、電気設備技術基準や内線規程に従って、確実にこなう
誤った配線工事は、漏電、感電や火災のおそれがあります。

本体は指定の方法で確実に取り付ける
落下により、けがをするおそれがあります。

部品は確実に取り付ける
落下により、けがをするおそれがあります。

接続するシャッターはそれぞれ5 W以下のものを使用する
火災の原因となります。

設置上のお願い

取り付け場所について

■ガス調理機器、電気調理機器の真上、80 cm以上の位置に取り付けてください。

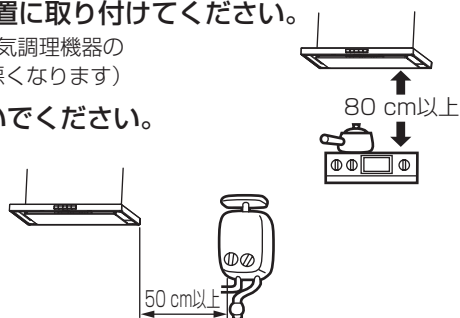
火災予防条例ではフィルター（油捕集板）の下端がガス調理機器、電気調理機器の真上80 cm以上必要です。（取り付け位置が高すぎると吸い込みが悪くなります）

■エアコンなどによる横風の当たる場所には取り付けないでください。

横風の影響を受けると吸い込みが悪くなることがあります。

■ガス湯沸かし器は側方に離して取り付けてください。

高温により故障の原因となります。



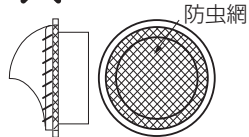
ご使用部品について

■パイプフード、ベントキャップは、排気抵抗の小さいもの（排気ダクト直管長さ25 m相当以下）をご使用ください。

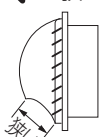
6ページの別売品をご確認ください。

■下記のパイプフード、ベントキャップは使用しないでください。

× ○ 防虫網付のもの



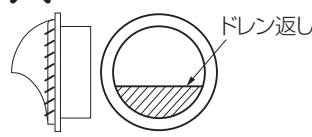
× ○ 出口の開口が狭いもの



× ○ スリットが極端に開口をふさぐもの



× ○ ドレン返し付のもの



施工について

■羽根をはずした状態でモーターを回転させないでください。

回転数が上がり、モーターが焼きつくことがあります。

■羽根の回転バランスをとるためにバランス（重り）が付いている場合がありますが、絶対にはずさないようにしてください。

異常や故障の原因となります。

■全体換気の必要なところは、他の換気扇との併用をおすすめします。

■空気の取り入れ口（給気口）を設けてください。

（開口面積100～150 cm²が目安となります）

給気電動シャッターを使わない場合は排気性能確保のため、空気の取り入れ口を設けてください。

■次のような配管工事はしないでください。

（吐出口のすぐそばで曲げると、シャッターが開かなくなり正しく排気されません）

(1) 極端な曲げ



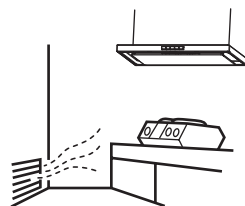
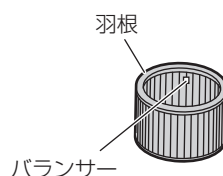
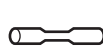
(2) 吐出口のすぐそばでの曲げ



(3) 多数回の曲げ

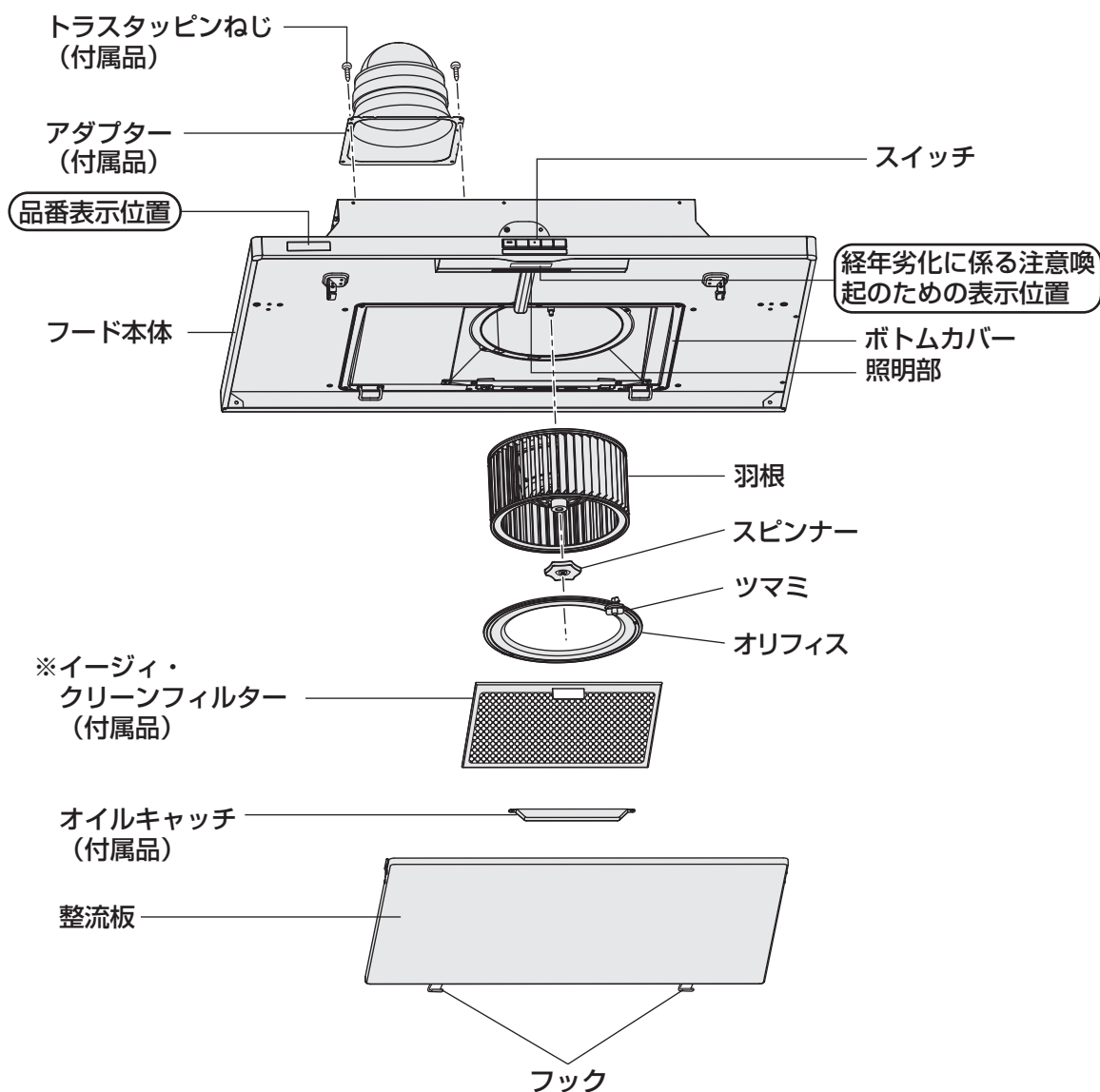


(4) 接続ダクト径を小さくする。



各部の名前

品番および経年劣化に係る注意喚起のための表示位置



お願い

※印部品に特殊処理（はっ水塗装）をおこなっています。
塗装部分に直接さわりますと、指紋がつくことがあります。
施工の際は、手袋の着用をお願いします。

付属品・別売品

お願い

この製品専用の付属品あるいは指定のもの（別売品）以外は使用しないでください。

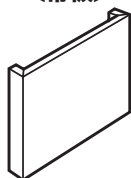
付属品

- | | | | | | |
|------------------------------------|---|----|-------------|---|----|
| ●パッキングテープ
(ダクト接続用)..... |  | 1個 | ●フィルター..... |  | 1個 |
| ●トラスタッピンねじ
・アダプター固定用 (φ4×8) ... |  | 2個 | ●アダプター..... |  | 1個 |
| ・本体固定用 (φ4×40) |  | 4個 | ●取付金具..... |  | 2個 |
| ●トラス転造ねじ (φ5×8) |  | 4個 | ●型紙..... |  | 1枚 |
| ●オイルキャッチ |  | 1個 | | | |
| (フード本体に取り付けられています) | | | | | |

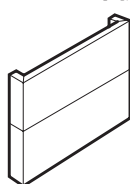
別売品

詳細についてはカタログを参照してください。

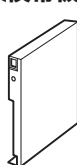
〔幕板〕



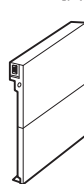
〔スライド幕板〕



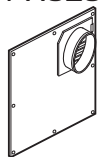
〔横幕板〕



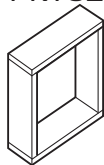
〔スライド横幕板〕



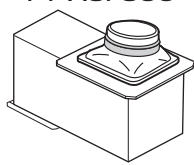
〔取付枠アダプター〕
(プロペラファンタイプ)
から買い替える場合
FY-AC256



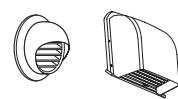
〔木枠用不燃カバー〕
(取付枠が可燃性の場合)
FY-KYC25



〔アダプターアタッチメント〕
(深形レンジフード (シロッコファン)
タイプ) から買い替える場合
FY-ASFS06



〔パイプフード〕



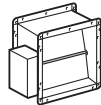
〔ベントキャップ〕



〔給気電動シャッター〕



〔電動シャッター〕



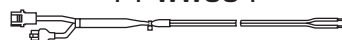
〔給気電動シャッター連動用コード〕

(給気電動シャッターを
使用される場合)

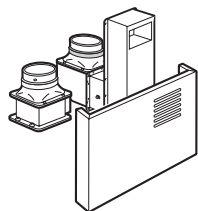
FY-WW001



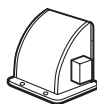
FY-WW004



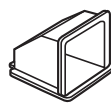
〔同時給排ユニット〕



〔電動シャッター付
アタッチメント〕



〔アダプター
アタッチメント〕



事前準備ください

- ダクト (φ150) ●アルミテープ ●補強材 (現場により必要です)

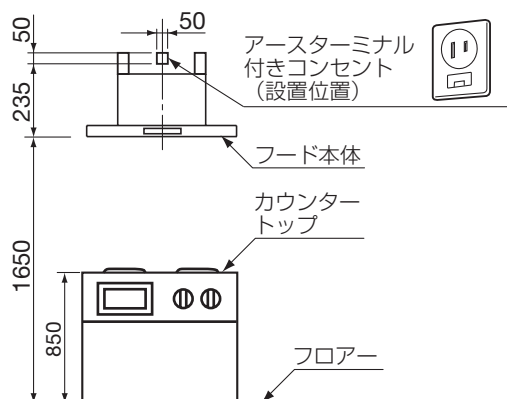
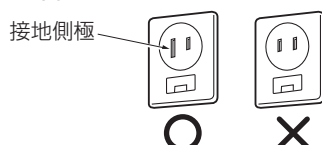
取り付け前に（続き）

3.電気工事について

※電気工事は電気工事業者にご依頼ください。

1. 電気工事のご注意

- 本機はa.c.100 V仕様です。
- 本体を設置する場所の、図の位置にアースターミナル付きコンセントを設置してください。
- アース工事を必ずおこなってください。
- 屋内配線が正しいか極性確認をおこなってください。形状によっては使用できないコンセントがあります。下記をご確認ください。



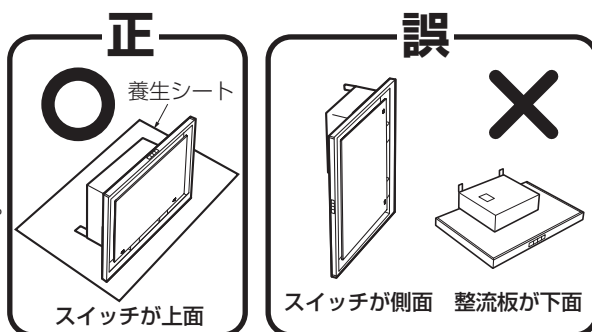
2. 漏電遮断器の設置について

万一の漏電事故時安全確保のために、漏電遮断器の設置をしてください。

推奨漏電遮断器	住宅分電盤小形漏電ブレーカー 定格電流20 A, 感度電流15 mA
---------	---------------------------------------

4.開梱の際は

1. 本体に取り付いている包装材（段ボール、テープ）を必ず取りはずしてください。
※フード本体前面（スイッチ操作面）の保護シートは取りはずさないでください。
2. 右図のように正しい置きかたをしてください。
※誤った置きかたをしますと傷や破損の原因となります。
※養生シートの敷き物をするなど、傷つき防止をお願いします。

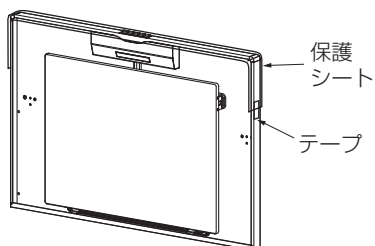


施工方法

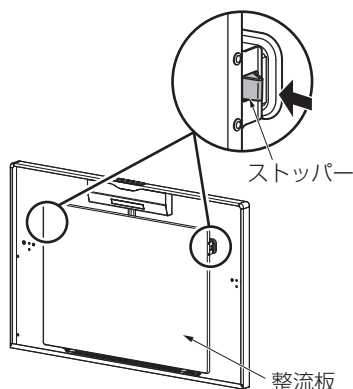
1. 整流板をはずす

お願い

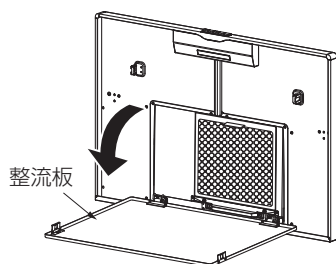
●フード本体前面の保護シートは施工完了まで取りはささないでください。
(側面に壁や吊戸棚があるなど、設置後に保護シートがはずせない場合は、事前にテープの位置を調整してください。)



① 整流板を固定している左右のストッパーを指で押し込む。

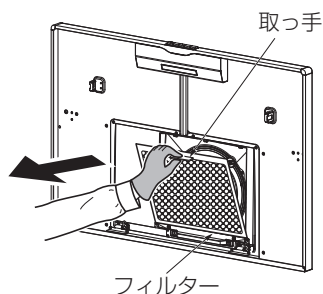


② 整流板をゆっくり下げ、整流板をはずす。



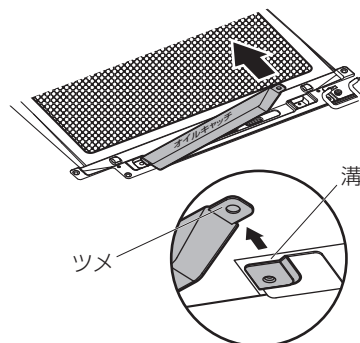
2. フィルターをはずす

フィルターの取っ手を手前に引いてフィルターをはずす。

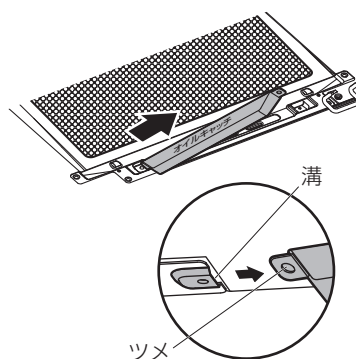


3. オイルキャッチをはずす

① オイルキャッチの右側のツメをはずす。



② 左側のツメをはずす。



※ 左右の溝の構造が異なります。
順番にはずしてください。

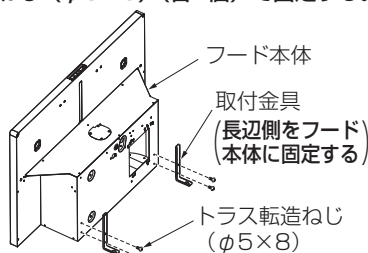
施工方法 (続き)

4.フード本体の取り付け

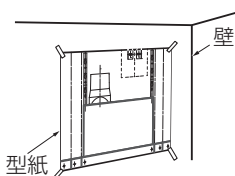
お願い インパクトドライバーなどを使わず、手回しドライバーにてねじをしっかりと締め付けてください。
目安としてトルク2 N・m (20 kgf・cm) 以下で締め付けてください。

標準位置に取り付ける場合

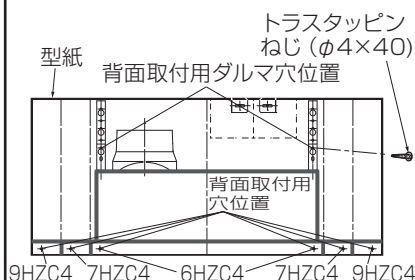
- ① 取付金具をフード本体にトラス転造ねじ (φ5×8) (各2個) で固定する。



- ② 付属の型紙をフード幅に合わせて切り取り、設置場所に貼り付ける。

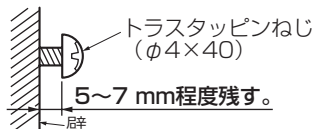


- ③ 型紙の背面取付用ダルマ穴位置 (●印) (2か所) と背面取付用穴位置 (◎印) (2か所) にトラスタッピンねじ (φ4×40) を少しねじ込み、目印をつける。
※型紙に記載の内容もあわせてご確認ください。



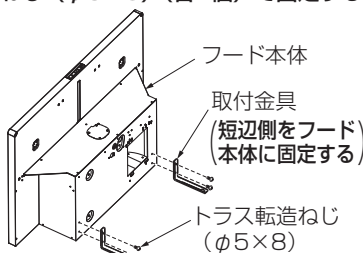
- ④ 型紙をはがす。
※型紙は幕板を取り付ける場合に使用するので捨てないでください。

- ⑤ ③で目印をつけた背面取付用ダルマ穴位置 (●印) (2か所) にトラスタッピンねじ (φ4×40) を仮止める。

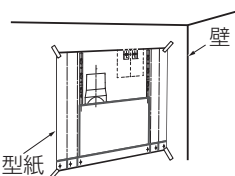


リフォームなどでフード本体下面から274 mmにねじが使用できない場合

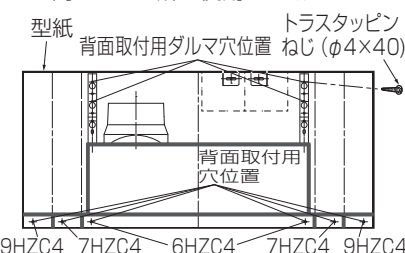
- ① 取付金具をフード本体にトラス転造ねじ (φ5×8) (各2個) で固定する。



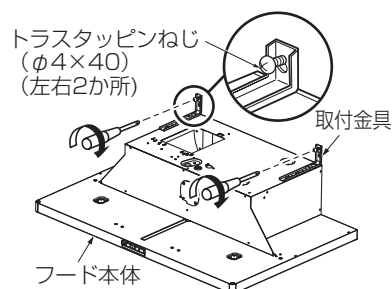
- ② 付属の型紙をフード幅に合わせて切り取り、設置場所に貼り付ける。



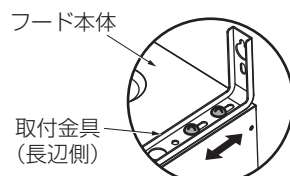
- ③ 型紙の背面取付用ダルマ穴位置 (●印) (2か所) と背面取付用穴位置 (◎印) (2か所) にトラスタッピンねじ (φ4×40) を少しねじ込み、目印をつける。
※型紙に記載の内容もあわせてご確認ください。
※背面取付用ダルマ穴位置は左右同じ高さの2か所を使用してください。



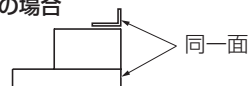
- ⑥ フード本体に固定した取付金具のダルマ穴を仮止めたトラスタッピンねじ (φ4×40) に引っ掛け、締め付ける。



※取付面の仕上がりでフード本体が前倒れする場合は、取付金具の長穴で取付金具位置を調整してください。
(取付金具の長辺側をフード本体に固定する場合のみ調整可能です)



●標準の場合



●前倒れする場合



- ⑦ ③で目印をつけた背面取付用穴位置 (◎印) (2か所) にトラスタッピンねじ (φ4×40) でフード本体を固定する。



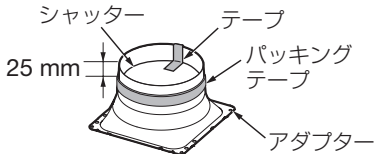
お願い

●フード本体は水準器を使用して水平 (0.5度以下) に取り付けてください。傾いて取り付けると、オイルキャッチに油がたまらないおそれがあります。

5.アダプターの取り付け

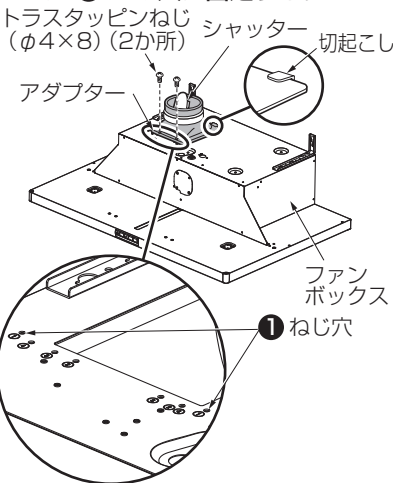
①アダプターを準備する。

- (1) アダプターのシャッターを固定しているテープをはずす。
- (2) 付属のパッキングテープ (ダクト接続用) (付属品) を貼り付ける。



上方排気の場合

- ② シャッターが下図の方向に開くように、ファンボックスの切起こし (2か所) にアダプターを差し込み、トラスタッピンねじ (φ4×8) (2か所) で"①"の穴に固定する。

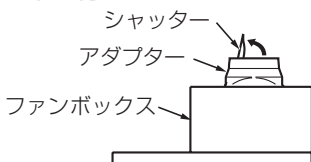


- ③ アダプターとダクトを接続し、接続した部分にアルミテープ (市販品) を巻き付け、空気もれを防ぐ。



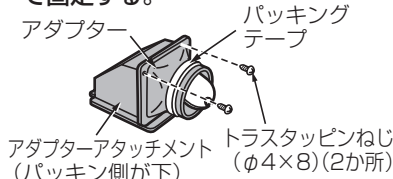
お願い

- アダプターのシャッターが下図の方向に開くように、ファンボックスに取り付けてください。



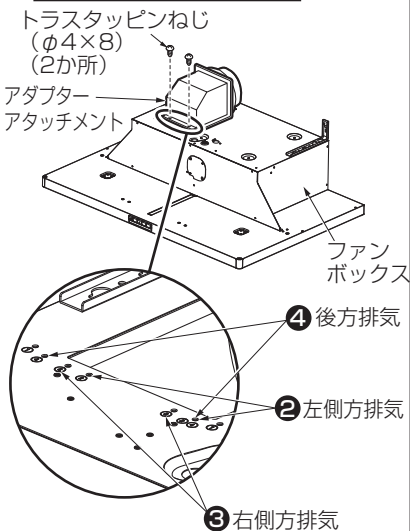
後方・側方排気の場合

- ② シャッターが下図の方向に開くように、アダプターアタッチメント (別売品) へアダプターをトラスタッピンねじ (φ4×8) (2か所) で固定する。

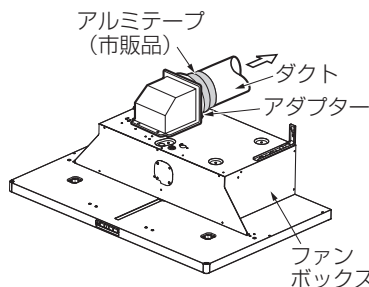


- ③ アダプターアタッチメント (別売品) をファンボックスの切起こしに差し込み、トラスタッピンねじ (2か所) で指定の穴に固定する。

後方排気の場合 : ④
左側方排気の場合 : ②
右側方排気の場合 : ③

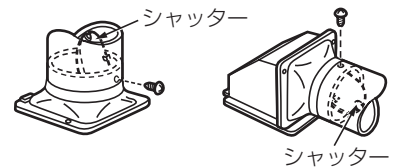


- ④ アダプターとダクトを接続し、接続した部分にアルミテープ (市販品) を巻き付け、空気もれを防ぐ。



お願い

- ダクトをねじ止めする場合は、長さ10 mm以下のねじを使用し、シャッター可動部に当たらないように固定してください。



- 排気ダクトと可燃物の距離は、10 cm以上離すか、もしくは下記の処理をしてください。

- ・ 5 mm以上の不燃材料で被覆し、かつ50 mm以上離す。
- ・ 50 mm以上の不燃材料で被覆する。

施工方法（続き）

6.電源の接続

⚠ 警告



D種接地工事をおこなう
故障や漏電のときに感電するおそれがあります。



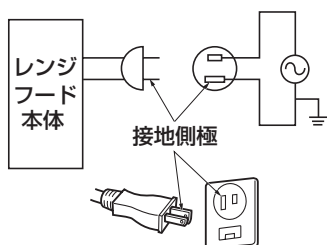
電源プラグは根元まで確実に差し込む
差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
●傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

電源コードはアダプター、排気ダクトと離して固定する

火災など重大な事故の原因となります。詳しくは所轄の消防署（庁）にお問い合わせください。

●万一の感電防止のため必ずファンボックス天面のアース端子を使用してアース工事をしてください。

●電源プラグをコンセントに差し込みます。



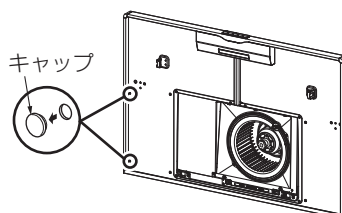
●屋内配線が正しいか極性確認をおこなってください。

7.横幕板/幕板の取り付け

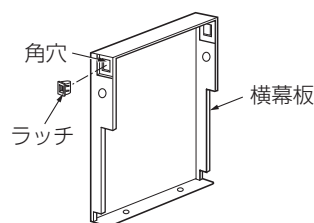
横幕板の取り付け

横幕板を取り付けない場合は、次ページの「幕板の取り付け」に従って幕板を取り付けてください。

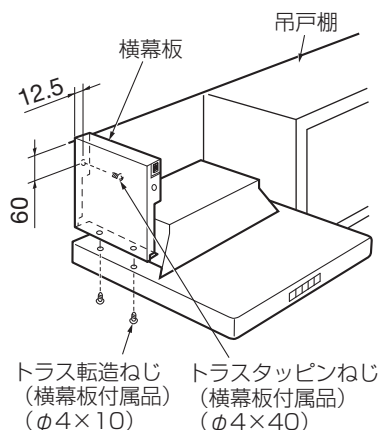
①横幕板取り付け側のキャップをはずす。



②横幕板の角穴にラッチを取り付ける。



③横幕板をねじで固定する。

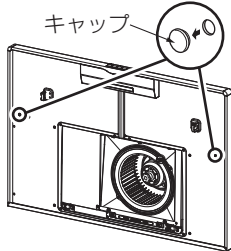


④次ページの「幕板の取り付け」の①～⑨の順に従って幕板を取り付ける。

※スライド幕板、スライド横幕板を施工する際は、スライド幕板、スライド横幕板それぞれに同梱の工事説明書を参照してください。

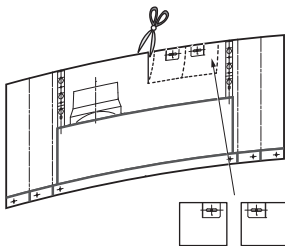
幕板の取り付け

①キャップをはずす。



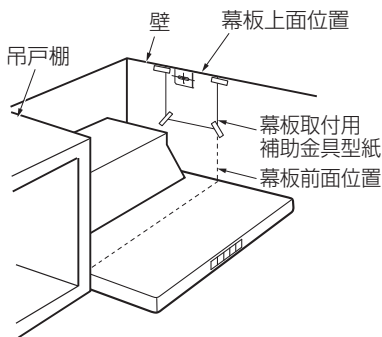
横幕板を取り付けた側は、
②～⑥の作業は不要です。

②型紙から幕板取付用補助金具型紙（左側用、右側用）を切り取る。



幕板取付用補助金具型紙
（左側用・右側用）

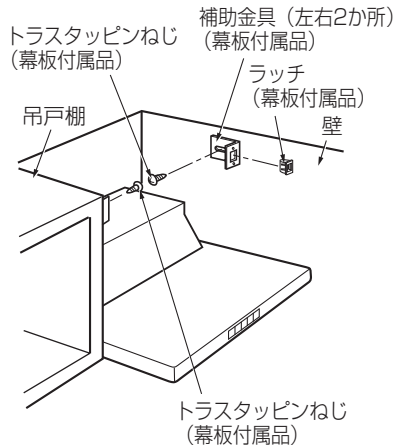
③②で切り取った幕板取付用補助金具型紙を吊戸棚または、壁に合わせて貼り付ける。



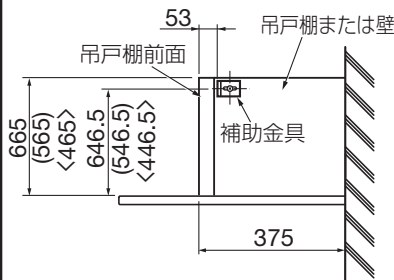
④幕板取付用補助金具型紙のねじ穴部分（●印）にトラスタッピンねじ（φ4×14：幕板付属品）で少しねじ込み、目印をつける。

⑤幕板取付用補助金具型紙をはがす。

⑥補助金具にラッチを取り付け、左右の吊戸棚または壁にねじで固定する。（補助金具取付面とフード本体側の側面を合わせて取り付ける。）

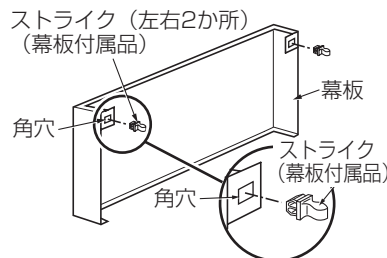


補助金具取付位置

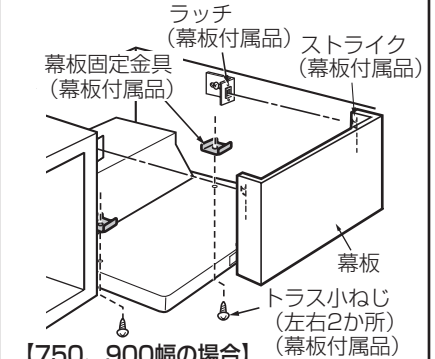


※（ ）内寸法は、幕板高さ565 mmの幕板を取り付けるときの寸法です。
< >内寸法は、幕板高さ465 mmの幕板を取り付けるときの寸法です。

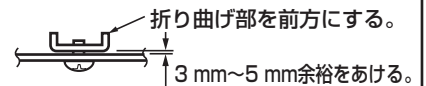
⑦幕板裏面の角穴にストライクを取り付ける。（ストライクは縦向きに取り付ける。）



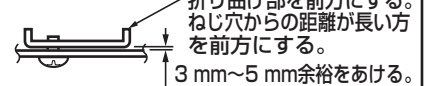
⑧フード本体側より幕板固定金具（2個）を仮止めし、幕板の上部のストライクをラッチにはめる。



【750、900幅の場合】

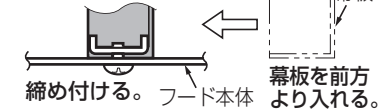


【600幅の場合】

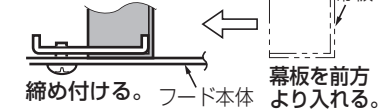


⑨幕板固定金具とフード天面の間に幕板を前方から入れ、トラス小ねじを締め付ける。

【750、900幅の場合】



【600幅の場合】



※整流板をはずして作業する。
幕板の左右のすきまが均一になるように取り付ける。

警告



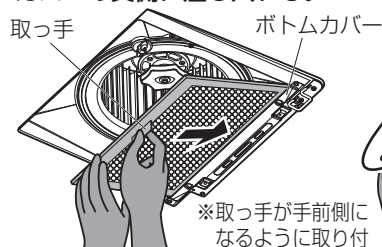
指定穴以外へねじを固定しない
故障や漏電のときに感電するおそれがあります。

指定以外のねじを使用しない
内部の配線を傷つけ、感電するおそれがあります。

施工方法（続き）

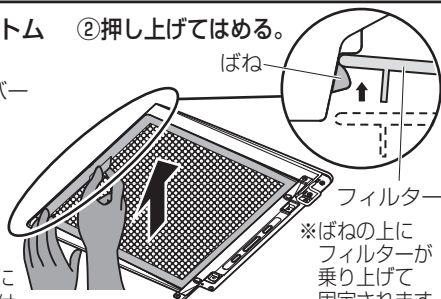
8. フィルターの取り付け

- ① フィルターの取っ手を持ち、ボトムカバーの奥側に差し入れる。



※取っ手が手前側になるように取り付けてください。

- ② 押し上げてはめる。

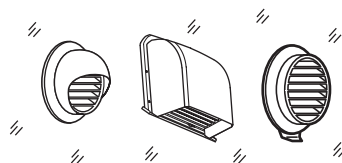


※ばねの上にフィルターが乗り上げて固定されます。
※フィルターは少ななめに取付きます。

お願い ●フィルターがきちんと固定されているか確認してください。固定されていないと落下するおそれがあります。

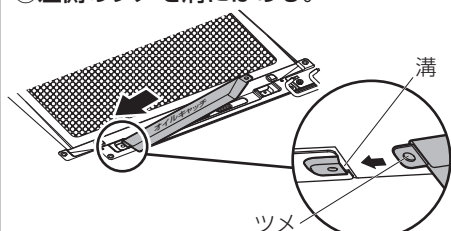
11. 外壁面の施工

- 外壁面には、パイプフードまたはベントキャップを現場にて調達し、付属の工事説明書に従って取り付けてください。

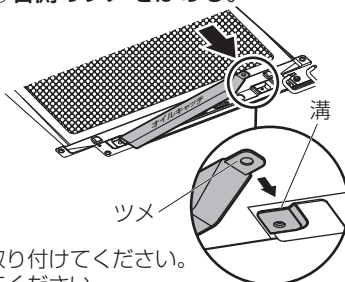


9. オイルキャッチの取り付け

- ① 左側のツメを溝にはめる。



- ② 右側のツメをはめる。

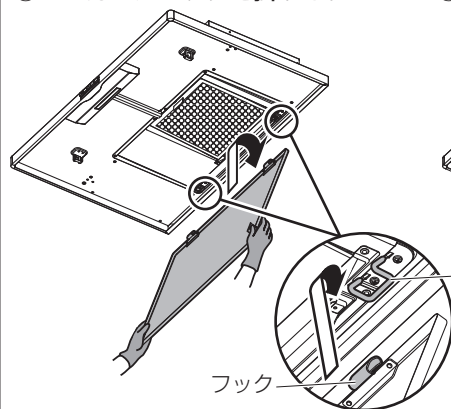


※「オイルキャッチ」の刻印を手前に向けて取り付けてください。
※左右の溝の構造が異なります。順番にはめてください。

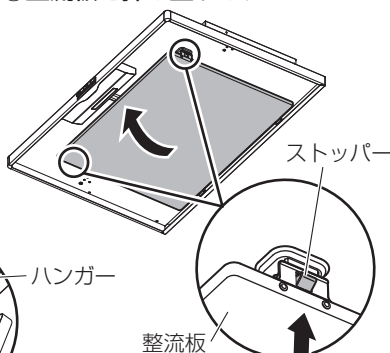
お願い ●オイルキャッチがきちんと固定されているか確認してください。固定されていないと落下するおそれがあります。

10. 整流板の取り付け

- ① ハンガーにフックを掛ける。



- ② 整流板を押し上げる。



整流板金具の穴がストッパーにきちんとはまるまで押し上げる。

お願い ●整流板がきちんと固定されているか確認してください。固定されていないと落下するおそれがあります。

※整流板の開閉は、手でささえながらゆっくりおこなってください。落下させると突起物に干渉し、変形および破損のおそれがあります。

12. 動作確認

- 分電盤のブレーカーを入にして、本体操作スイッチでの動作を確認してください。

本体側	チェック欄
弱	
中	
強	
照明	
切	

お願い

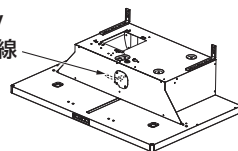
- 運転時、排気が正しくおこなわれていることを確認してください。
※羽根は回っていますか？
- 異常な騒音・振動がないことを確認してください。
- フード本体前面の保護シートをはずしてください。

シャッター（別売品）の取り付け

本フードには、運転連動させてシャッターを開閉することができる連動用信号線が付いています。

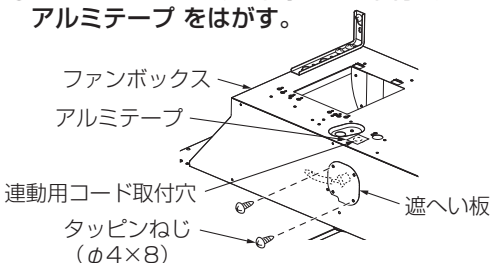
運転モード	弱	中	強
連動用信号線出力	交流100 V	交流100 V	交流100 V

交流100 V
連動用信号線



- 接続は「電気設備技術基準」や「内線規程」に従って確実に接続してください。
- 連動用コードや電動シャッターは現地にて別売品を手配ください。
- 連動用シャッターの施工は機器に付属の工事説明書にもとづき確実にこなしてください。

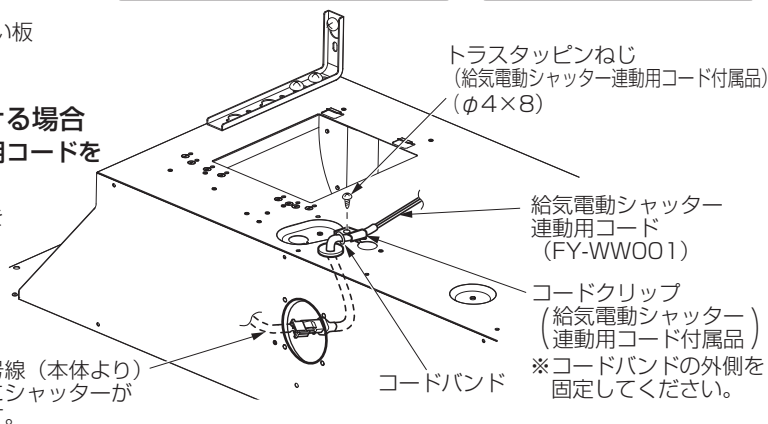
- ①タッピンねじ（φ4×8）（2個）をはすし、遮へい板を取りはずす。
- ②ファンボックスの連動用コード取付穴のアルミテープをはがす。



A. 給気電動シャッターのみを取り付ける場合

右図のように給気電動シャッター連動用コードを取り付ける。

※詳細は給気電動シャッターの工事説明書を参照してください。



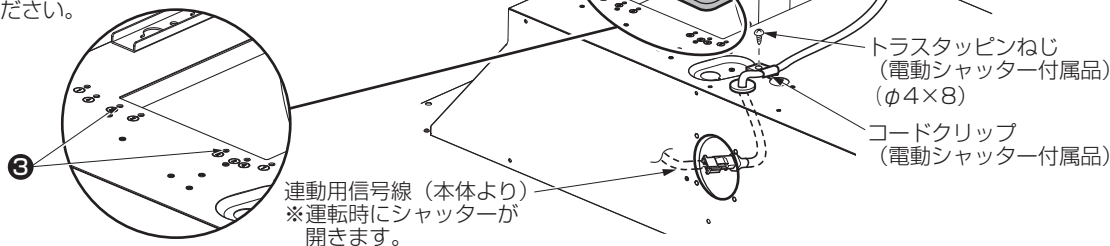
B. 電動シャッターのみを取り付ける場合

右図のように電動シャッター連動用コードを取り付ける。

※アダプターのシャッターは必ず取りはずしてください。

電動シャッターは必ずモーターカバーが壁側にくるように取り付けてください。誤った取り付けをされますと、電動シャッターが開きません。

※詳細は電動シャッターの工事説明書を参照してください。



施工方法（続き）

シャッター（別売品）の取り付け（続き）

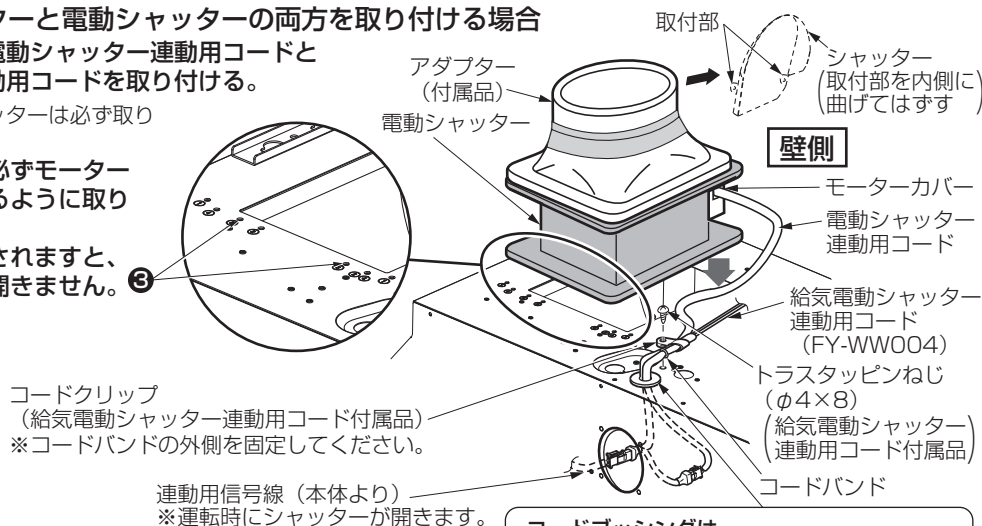
C. 給気電動シャッターと電動シャッターの両方を取り付ける場合

右図のように給気電動シャッター連動用コードと電動シャッター連動用コードを取り付ける。

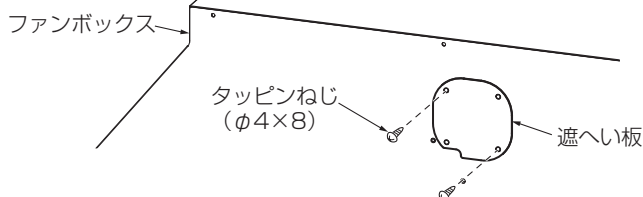
※アダプターのシャッターは必ず取りはずしてください。

電動シャッターは必ずモーターカバーが壁側にくるように取り付けてください。

誤った取り付けをされますと、電動シャッターが開きません。



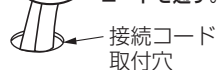
- ③ 接続したコードをファンボックス内部に納め、遮へい板を①ではずしたタッピンねじ（φ4×8）（2個）で固定する。



コードブッシングは1辺だけに切れ目を入れて使用してください。



コードブッシングの切れ目を開いてコードを通す。



仕様

品 番	質量 (kg)	電 源	風量調節	消費電力 (W)	換気風量 (m³/h)	騒音 (dB)
FY-6HZC4	12	交流100 V 50/60 Hz	強	85/96	524/502	45.5/45
FY-7HZC4	13		中	46/49	322/298	34.5/33
FY-9HZC4	13.5		弱	13/15.5	135/145	18.5/19

●上記仕様は静圧 0 Pa (パスカル) 時の値です。

静圧 0 Pa (パスカル) とは、レンジフードにおよぼす圧力が「0 (ゼロ)」の状態を示します。

●レンジフードに使用している部品は、性能向上などのために予告なしに一部変更することがあります。

●消費電力・換気風量・騒音の測定は JIS C 9603 によります。

●騒音値は当社無響音室で測定した値ですので、実際に設置した状態では反響などの影響を受け、表示数値より高くなります。

パナソニック株式会社

パナソニック エコシステムズ株式会社

〒486-8522 愛知県春日井市鷹来町字下仲田4017番 TEL(0568)81-1511